

議員

町営住宅、特定公共賃貸住宅への木質ペレット・太陽光発電の導入はできないか

町長

ペレットストーブ、太陽光発電の課題がクリアされれば検討したい



議員

公共施設を中心に二酸化炭素排出削減への取り組みとして、木質ペレットの導入、さらに、一般家庭への利用拡大に向けた取り組み、また、特定公共賃貸住宅は蓄熱暖房、オール電化を取り入れていきます。

今後建設される町営住宅などへの、ペレットストーブと太陽光発電の併用を考えてみてはどうか。

町長

津別町には、23台のペレットストーブが導入されていますが、なかなか導入が進まない要因として、利用されてい

る方のアンケートを行った中で、ストーブの価格が高いことや本体が大きく機能性に欠ける、主暖房としての熱量が不十分であること、ペレットの補給や灰の処理に手間が掛かるということでした。

町営住宅、特定公共賃貸住宅への設置ということですが、利点と問題点を考えますと、利点については、二酸化炭素の削減、燃料費の節減があります。問題点としては、各世帯の利用時間が異なるため、集中ボイラーは非効率、主暖房として十分でないこと、ワンフロアは可能ですが、長屋方式なので入居者個々のニーズの差や入退居があることです。

太陽光発電システムとの併用も、利点は二酸化炭素削減。問題点としては、設置事業費が高くなるため家賃が上がり、また、集合住宅などの個々の電力使用量が異なり、

料金算定が困難であることなどが考えられ、町営住宅には設置していません。

今後の対応として、町営住宅で実施している自治体があるのかどうか調査をし、研究を深めていきたいと考えています。

議員

ペレットストーブ、太陽光発電の導入は現段階で取り入れることは難しい状況だが、問題点をクリアすることも重要なのではないかと。

町長

町営住宅は低所得者のための住宅であり、太陽光発電を取り入れることはまだ高額であり、家賃に跳ね返ります。

特定公共賃貸住宅はまた別な目的であり、太陽光発電を設置することでどのようなか、課題がクリアされていくのであれば検討を進めていきたい。

町営住宅は、長屋方式という中では難しい面もあります。今後改修工事が必要とされている一戸建て住宅とか、これから新たにつくる予定の施設については、ペレットストーブ、太陽光発電を意識しながら建設していきたいと思

います。

なお、平成24年度予算では、一般家庭のペレットストーブの補助率を上げ、他の再生エネルギーの研究をできるところから検討していこうと考えています。



一般質問

白馬 康進 議員

○町長の政治姿勢について

議員

町長の政治姿勢について

町長

町民と議会意見を参考に町政を進める



議員
政策や事業を進めていく上で、例えばこども園の場所と用地を求める問題で、誤解や混乱を招くような進め方は町長の独断と先行に問題があったと思うが、どう受け止めているのか。

町長
第5次津別町総合計画に盛り込まれていたもので、これを一つ一つ実行に移していくことが私の責任と思い進めてきました。

議員
このことにおいて、議会に

事前協議をしないで進めてきたことは、議会軽視も甚だしいのではないか。

町長

議会軽視をしたつもりはありません。皆さんに提案する上で、考え方を提示させていただいたということでは、まちづくり懇談会などでは、最有力地ということで話をさせていただきました。議論の中で出てきた幾つかの不安材料にどう対応すべきかを話し合ってきた、という認識です。受け止め方によっては、迷惑を掛けた部分もあると思うので反省点とするところです。

議員

町民の声や議会の意見が十分反映されないやり方はおかしいので、今後においてはしっかりと順序立てをして進めるべきでないか。

町長

今後まちづくりを進める上では、反省点になるかと思いますが、今回の説明がしっかりと伝わっているかどうかも含め検証し、しっかりと対応していきたい。

議員

これから総合計画を基軸に、10年事業展開をしていくことになるので、できるだけ町

民の声や議会の意見を十分反映されるよう臨んでほしいと思うがどう考えているか。

町長

町民の声を聞くための情報提供の蛇口をいろいろと設けてきたつもりです。まちづくり懇談会や住民満足度定点点検、パブリックコメントにより、町政を進めていきたいと考えています。



一般質問

篠原 眞稚子 議員

- 教育行政について
- 福祉行政について

議員

武道授業での安全対策は万全か

教育長

研修を行い、
安全対策の徹底を図る



議員

新しい学習指導要領の完全実施に伴い、新年度から中学1・2年生で必修化される武道は何を選択するのか伺いたい。

教育長

本町においては、剣道、柔道、相撲の中から柔道(男女)を選択し、実施に向け平成21年度からの移行期間において、前倒しで柔道着や柔道畳及び投げ込み練習用のセーフティーマットなどを購入し、3年前から実施しています。

議員

今年に入ってから柔道に對

する安全性の問題が新聞、テレビなどで報道され、文部科学省も「安全を確認した後、授業を再開するように」という通知を出しており、どのような対策を講じられるのか。

教育長

指導にあたる体育教師の研修については、北海道教育委員会が既に教職員向けの指導計画例を作成するとともに、全道6カ所で実技講習会、全道14カ所で説明会、またオホーツク局管内では2月10日に実技講習会を実施しており、その中で指導の留意点、課題などについて研修を行い、安全対策の徹底を図ってきているところだ。

議員

新聞によると、柔道が専門でない体育の先生や、十分指導の準備がされていないこと



が問題になっている。また、男子と女子とでは、筋肉のつき方が違うので、女子には特別な対策が必要とも報じられています。新中学1年生と保護者に対し、柔道について周知の方法を講じていただきましたが、その対策については。

教育長

専門的な知識、指導があるかとのお尋ねですが、指導については問題ないと思っ

ます。現在、中学校で指導している先生は有段者で、女生徒への配慮ができています。新中学1年生は40人いますので、一人で見るとなれば先生の目が届かない部分も出てくるので、必要に応じて टीम・ティーチングなどを取り入れ、事故のないよう進めていきたいと考えています。保護者への周知方法については、学校だよりでお知らせしたい。

議員

介護保険制度改定による 新サービスの対応はどうするのか

町長 定期巡回、随時対応は
行える状況にない

議員

介護保険制度に4月から新たに加わるサービス、定期巡回、随時対応サービスなど、看護と連携して24時間体制で支える制度が導入されることになったが、第5期介護保険事業計画には盛り込まれていない。見通しはどうか伺いたい。

町長

この制度は、重度の要介護者であっても、尊厳と個性が尊重され在宅で生活を続けることができる内容です。しかし、参入する事業所の確保が難しいという問題、津別のような広大な地域での効率的な巡回というような課題など多くあり、第5期の計画に盛り込んでいない状況です。

議員

見守りなどの身近なサービスを、有償ボランティアやボランティア貯金などを導入して、地域で支える取り組みを

り込んでいない状況です。

今後の対応ですが、特養などの施設整備は平成27年度からの第6期計画で検討することとし、第5期の計画では、小規模多機能型居宅介護サービスと、障がい者と高齢者がともに暮らす共生型住宅を併設した施設の整備を行う、民間事業所を支援していくという考え方を盛り込んでいくところ です。

津別町第5期介護保険事業 計画の重点課題

○介護サービス基盤の整備

新たなサービスである「小規模多機能型居宅介護」（小規模なデイサービスと訪問介護、短期入所を組み合わせ利用できる在宅介護サービス）の事業所誘致

○健康づくり・介護予防の推進

要介護状態にならないための健康づくりや高齢者などの交流の場となる「サロン活動」の取り組み

○認知症高齢者支援対策の推進

認知症の早期発見・早期受診の勧奨、徘徊高齢者SOSネットワークの充実

○地域生活支援事業の充実

支援が必要な高齢者の声掛けなどの見守り、買い物・外出支援、給食サービスの充実、有償ボランティア制度の創設

○高齢者のニーズに応じた住まいの確保

小規模多機能型居宅介護事業所に併設し、見守りや服薬管理、食事の提供などを備えた高齢者と障がい者が入居する共生型住宅を整備する事業所の誘致

町長

地域生活支援サービスの充実に向け、声掛けや、見守り、あるいは買い物支援など、さまざまな生活支援に対応したサービスを充実させるために、社会福祉協議会と連携して、有償ボランティア制度を創設し、それを支えるボランティアの育成のための講座を開催するなど、地域全体で支える仕組みづくりを検討することにしていきます。

つくれなにか。



山内 彬 議員

- 被災地の「がれき」受け入れについて
- まちづくりについて
- 人づくりについて

議員

被災地の「がれき」受け入れに 対する町の考えは

町長

「がれき」の受け入れは困難

最大の妨げとなつていていることから、国から広域処理について全国へ要請する動きがあるが、本町の受け入れの考え方について伺いたい。



議員

1年を過ぎ、被災地は復興に向け取り組んでいます。非常に厳しい現状にありますが、被災地の「がれき」が復興の

町長

焼却施設が無いので埋め立てになります。現在共和にあるゴミ最終処分場は、埋め立て量が3万立方メートルの施設で12年を経過しています。実質的に2万3千立方メートルの埋め立て施設に対し、これまで1万3千立方メートルの量を埋め立てており、残り1万立方メートルで、あと10年程度の見込みとなつています。次期処分場の計画の検討をしましたが「がれき」受け入れは、困難と判断したところです。

議員

広域的処理という問題について、国を挙げて取り組むと

いう状況に変わってきているが、この考え方について伺いたい。

町長

国や道からの要請がどのようになつても、最終処分場の処理能力からすると「がれき」の受け入れは非常に困難です。

議員

中心市街地の廃屋対策の考えは

4月から始める 環境基本計画の中で検討したい

町長

「まちづくり公約」として中心市街地の廃屋対策などについて進めようとしているが、昨年廃屋調査を行った結果及び廃屋対策の特定の助成要件などを検討するとしていたその内容について伺いたい。

議員

7月に中心市街地から半径500メートルの範囲で調査をしました。空き家が74戸あり、そ

議員

がれき受け入れができないのであれば、この先被災地に対して、他の支援ができないのかどうか考えを聞きたい。

町長

現在、具体的支援策はありません。今後、町として考えられる支援策を議会とともに検討していきたい。

の中で廃屋と思われるのが13戸ほどあります。廃屋とは適切に管理されておらず、屋根や壁が崩壊している状況の建物であり、住宅としては利用が難しいものと判断しています。

議員

国からの助成制度があることが分かり、4月からスタートさせる環境基本計画との整合性を図りながら進めたい。町政方針で、環境に特化し



たまちづくりを進めると述べているが、どのようなものなのか。

町長

これまで愛林のまちをベースに、特色のあるまちづくりを進めてきました。

今、本町ではいろいろな環境に対する取り組みが行われているので、環境をテーマとしたまちづくりを進めたい。

議員

花とイベントを組み合わせた町の魅力づくりの考えは

町長

花を添えたイベントでグレードを上げたい

議員

町政方針で、花とイベントを組み合わせ町の魅力を高めたいとしているが、これほどのような考え方なのか伺いたい。

町長

花の時期に行われている町のイベントを、花と組み合わせてみたらどうかということ。花に関しては、フラワーマスターの認定講習会を、

7月29日に津別町で開催します。そのほか「花いっぱい運動」も引き続き進めていきます。また、先進地視察についても昨年に引き続き実施します。今あるイベントと組み合わせ、花を添えることにより、グレードを高めていくことを「花のまち推進協議会」と一緒に進めていきたい。

議員

フラワーマスター認定講習会を開催するのであれば、本町もこれまでに以上の取り組みが必要でないのか。

町長

五差路や橋の欄干に、花を設置する予算を組んでいます。

議員

人づくりについて伺いたい

町長

自分の町を知ることが一番大事

議員

人づくりの推進は、地域リーダーや団体の育成が重要である。昨年新しくスタートした「人づくり・まちづくり活動支援事業」の実績について、また人づくりは町民の皆さんが共通認識を持つことが大事であり、そのため住民の行動を育み、町を知り、町を楽しむなど地域再生事業を考えるべきでないか。

議員

第5次総合計画の重点プロジェクトに相生・本岐・活潑地域のプロジェクトがあるが、町長の町政方針は中心市街地の政策ばかりとなっている。地域の問題は一切ふれられていない。地域の人からは「もう忘れられている・いわゆる住むなど言うことなのか」の声がある。中心市街地の問題と同様、真剣に考えるべきでないか。

町長

23年度の実績は、人づくり事業として、海外に15人、道

町長

総合計画の一部分を実践、今年度はこれをやっていきたいということで中心市街地整備を進めています。この1年間の中で地域再生のことを検討していきたい。



一般質問

茂呂竹 裕子 議員

- 学校給食の安全は確保されているか
- TPPについて今後の取り組みを聞きたい

議員

学校給食の安全は確保されているか

教育長

共同購入や産地厳選で安全に心掛けている



議員

原発事故から1年、この間放射性物質の影響が最も懸念される児童約17万3千人に、セシウムに汚染された牛肉が給食で提供されたことがあったが、津別町の学校給食の検査はどの段階で、どのように行われているのか。

教育長

食材は、共同購入と直接購入の二通りですが、サラダ油など43品は、管内5町で共同購入しており、安全性の問題はありません。米は道産米、魚や肉、野菜なども道内や地元で準備し、極力産地消に心掛けてきました。冬場野菜

は道内産、地元産が不足するので、産地を厳選し購入しており、食材すべて国の基準をクリアしたもので、安全性の問題はありません。したがって、放射能検査は行っていません。

議員

食材43品を共同購入しているので安全であるとの根拠は何か。

教育長

管内に検査機関がなく、共同購入のメーカーはすべて大手企業なので、ある程度の放射能検査をやっていると聞いています。

議員

放射性セシウム137の半減期は30年とされている。今後長期にわたり食品汚染は続くし、流通網の発達で、全国各地から野菜や果物が入っており、

魚は回遊するので、釧路や根室で陸揚げされたから安全とは言えない。道内でも釧路市や赤井川村などが、検査器の購入を予定しているのは、自治体が責任をもって安全を確かめることが大事だからではないか。

教育長

5～6市町村で動きがあることは知っています。問題は、管内に放射能検査をする機関がないことです。

地元産については大丈夫と判断していますし、保健所に機械を設置しない限り、独自には物理的にも難しいと判断しています。

国の基準が厳しく見直されているので、信用するしかないのではないかと思えます。

議員

検査器の購入には「地方消費者行政活性化基金」があります。「独立行政法人国民生活センター」は、検査器の貸し出しを行っており、道内では、9自治体が申請をしています。広域での申請でも良いとのことなので、近隣町村に働き掛けてみてはどうか。

教育長

検査器としては、ゲルマニウム半導体検出器が一番良いのですが、非常に高価で専門の職員も付けなければなりません。文部科学省として必要を認め、保健所などに設置するのが筋だと思えますので、これから北海道教育委員会を通して呼び掛けていきたいと思えます。



議員

TPP 反対運動を 今後どう取り組むのか

町長
町民自ら学び伝える方が
効果が上がるのではないかと

議員

町の存亡にかかわる重大問題として、町民の理解を深めるため、2月16日に町民学習会が開催されました。美幌、大空、小清水、斜里の各町と北見市でも連鎖的に多くの住民参加で反対集会が開かれました。しかし、財界、アメリカにしか目を向けない政府を振り向かせるには、まだ運動が足りないと感じます。北海道でさえ、1月14日の新聞アンケートによれば、賛成が多いのが実態であり、津別町でも、どれだけの人がTPPを自分のこととしてとらえているか疑問です。政府の「国益のため」とか、偏ったマスコミ報道にも問題がありますが、TPPは、間違いなく町の存亡にかかわります。JAや林協、商工会、医師会などと連携した波状的な取り組みが必要ではありませんか。

町長

昨年11月1日に網走エコセンターで、オホーツク活性化期成会が主催して「TPP交渉参加問題を考えるオホーツク集会」に参加し、今年2月16日に中央公民館で町、農協、農民同盟の3者主催で「TPPの影響と暮らしを考える町民集会」を約250人の参加で

議員

行いました。2月26日は網走市民会館で、オホーツク農業協同組合長会が主催した「TPP交渉参加断固阻止オホーツク総決起集会」には、1千人が参加し、津別町からも参加しました。町は、昨年11月号の広報に影響試算を記事にし、日本農業新聞を全戸配布し、今年2月号で町民集会の周知と、TPPが与える影響というカラーのチラシを全戸に配布し、住民周知を図ってきました。

町長

回TPP特集を組み、ポスターとのぼり旗を作ったり、議会には有志で講演会を行ったり、独自で千枚のポスターを張り出し、町が作ったのぼり旗200本を買い取り立てて歩いた。こうした活動をして、やっと町民の理解にたどり着いたと聞きました。美幌町との温度差を感じます。私もやれることはやりますが、町としてもさらに波状的に町民周知の手立てをとっていただきたいと思っています。



広報の記事は非常に少なく、昨年11月1日の網走での集会のみでした。広報への折り込みは2回ありました。

目に見え、音に聞こえ、町民の皆さんが理解し、話題に上るような取り組みにしていかなければなりません。

一軒一軒歩く署名活動や、統一行動などは、農家の皆さんと協力して、デモ行進をする一番目に付き話題になるのではないのでしょうか。美幌町は広報で3

2月16日の町民集会の後、肉牛振興会の総会に行ったところ、町民集会で話を聞いて、改めてそういうことかとよく分かったが、理解できない部分もあり、自分たちでも勉強会を開かないとだめだ、というご意見が出ていました。理解され、すっと落ちれば、その人がきちっと隣人に伝えることができる、そういう活動が一番大事ではないかと感じました。勉強会がこちらで開かれ、分かった人が伝えていく、こういうことの方が効果上がるのではないかと考えています。

一般質問

谷川 忠雄 議員

- 町政施策の大規模投資と管理運営費などの予算及び中長期の財政展望について
- 津別峠及びパークゴルフ場の管理のあり方について

議員

大型公共施設整備による 中長期の財政展望は

町長

財政運営は収支バランスを 考えよう



議員 町長は町政方針で「歩いて暮らせるまちづくり」を掲げ、中心市街地形成を目玉事業に、積極的に取り組んでいる。大型公共施設及び関連投資などが増す中で、初期投資後の追加予算も再三にわたっている。また、過疎化が進行する中、町民から過大投資を不安視され、今後の健全財政維持を憂慮する声もある。ここ4～5年のさんさん館を含む大規模公共施設の総投資額や、毎年の維持管理などの経費も多額に上っている。町費の実質負担を含め、経常経費の中長期の財政見通しを伺いたい。

多額の維持管理費は永続的で財政影響度はどうか。

町長 新たな施設であるさんさん館や、多目的運動公園、社会教育施設などの維持管理費は徐々に増加し、財政への影響はあります。

議員 公債費は減少傾向だが、今後の財政運営の基本的な考え方は。

町長 平成22年度に策定した中期財政計画は、平成元年度からの財政状況の分析を行い、平成4年度から13年度にかけて多額の起債があり、平成10年度から11年度には総額で約36億円となりました。加えて平成13年度からは国の三位一体改革で地方交付税の減額が進み、弾力性のない財政運営を

続けてきました。中期財政計画では起債の残高を減少させ、基金を計画的に積み立てていくよう、今進めています。

議員

第5次総合計画の前期計画及び後期計画の目玉事業は何か。

町長

前期計画の平成26年度まで

は、町営住宅と認定こども園です。平成27年度から31年度までの後期計画では、水道導水管更新、農業集落排水と公共下水道の統合、国営農地再編整備事業、給食センター改築、津別病院が改築するとなれば支援をしなければなりませんし、ゴミ最終処分場を想定しています。



議員

津別峠及びパークゴルフ場の 管理のあり方は

町長 委託先は、関係先と協議中である

議員

津別峠は観光、集客施設であり、森林セラピー基地を含め活性化に向け、ここ数年、管理受託者は売店、施設管理に多大な努力をしている。パークゴルフ場の食堂を含め経営に苦慮し、撤退の話も聞くと観光振興上も重大であり町の対応策を伺いたい。

また、町政方針では毎年集客増や利用促進に努めるとあるが、具体的な方策はあるのか。

教育長

パークゴルフ場利用の積極的な集客活動は特にしていませんが、船橋市、南アルプス市との交流の中心として、パークゴルフのメニューを取り入れ、昨年船橋市の担当者に



体験してもらいました。また、

昨年社会教育講座で講演いただいたアナウンサーの松永俊之さんが、自らパークゴルフのツアーを企画していますので、本町のパークゴルフ場も見ていただき、利用のお願いをしています。

芝の良否で集客状況が変わるので、良好な管理に努め、大会を含めた利用者の拡大を図っていきます。

議員

津別峠の売店や施設管理、パークゴルフ場食堂の管理委託をどう考えているのか。

町長

峠の売店はランプの宿及びNPO法人「森のこだま」と委託の可能性を協議中です。

教育長

パークゴルフ場の食堂は、委託先のパノラマ会より赤字の話しを聞いています。今後協議を進める中で対応策を考えていきたい。

議員

毎年度の売店の赤字経営を把握しているか。

産業課長

町として、パノラマ会は施設管理を委託していますが、売店経営には関与していません。

議員

利用減により、引き受け手があるのか。支援策を考えるべきではないか。

教育長

今、パノラマ会で継続するか検討中と思いますが、要望があれば相談していきたい。

